

P22c **HII領域 W5 に付随する BRC 12 における集団的星形成**

福田尚也 (岡山理科大学)、杉谷光司 (名古屋市立大学)、渡辺誠 (国立天文台)

HII 領域 W5 は大中質量星を含む活発な星形成領域として知られている。最近、W5 に付随する若い天体の分布が Spitzer の中間赤外線観測によって明らかにされ、大規模な連鎖的星形成が報告された。本研究では、W5 に付随するブライトリム分子雲 BRC12 とその周辺に着目し、Spitzer によって同定された若い天体 (主に Class II) と H α 輝線星に対して、ハワイ大学 2.2m 望遠鏡+WFGS2 を用いた i' バンドによる測光と過去の QUIRC の近赤外線観測、および、2MASS のデータに基づいて、若い天体の年齢の推定を行ったので、その結果について報告する。

BRC12 のリム周辺にて、1Myr 以下の年齢を持つと推定される若い天体が多く付随していた。それらはほぼブライトリム分子雲のリムに沿って表面近くに分布しており、特にブライトリム分子雲の頭部あたりに複数まとまって存在する。より進化した若い天体はリムから離れた部分に多く存在し、ブライトリム分子雲にて集団的な星形成が誘発された状況が示唆される。